

令和7年度の目標および成果等

課題の類型	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）
学校と地域の課題 （学校支援ボランティアの確保・育成）	地域コーディネーターやボランティアの固定化・高齢化が進んでおり、今まで以上に幅広い住民に参加を促す必要がある。地域学校協働活動の認知度を高め、地域学校協働活動へ参加することに対する心理的なハードルを下げ、ボランティアの確保につなげることが重要。	地域学校協働活動の周知広報 地域コーディネーターに対する研修 地域コーディネーターを担うことができる人材の発掘・養成	地域コーディネーターを担うことができる人材を発掘・養成するため、地域コーディネーター養成塾を開催しているが、令和6年度より参加者を広く市民から募集した結果、令和5年度と比べ保護者世代の参加者が増えた。引き続き、PTAへ働きかけるなど、広く参加者を募集する。	より多くの地域の大人たちがボランティアとして子どもたちと関わることにより、子どもたちの地域に対する興味・愛着を深め、郷土愛を育む。最終的には、地域活動の担い手不足など地域課題の解決につなげる。地域の大人たちの生きがいづくりや自己実現を通し、地域の活性化につなげる。

目標の達成度を測る指標	現状の数値	7年度の目標値	7年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
学校支援ボランティア参加延べ人数	9097人	9500人	15609人	各地域で特色ある活動を活発に行い、ボランティアの参加人数が増加した。一方で、参加人数は活動内容によって増減するため、ボランティアとして参画した人材が増加したかどうかまでは把握できていない。今後は、単に人数を増やすだけでなく、継続的に活動していくための人材育成やフォロー、情報提供等を行っていく必要がある。